

第1回懇話会での主なご意見（2023年6月2日）

①地域ニーズをしっかりとみ取ること

- ・ 地域住民にとって関心のある身近な生活の支えとなるものや、将来あると良いと思えるもの。（子育て、高齢者支援、安心・安全などの生活者目線の活動）
- ・ 時代に合わせて地域生活の状況や社会貢献の意味も変化。

②地域貢献活動を見える化し、県民・住民の認知度を高めること

- ・ マスコミを活用した PR、地域貢献活動の県の認証制度（例）など
- ・ 生活者目線の活動（再掲）

③活動のプラットフォーム・枠組みを作って地域との関わりを生み出すこと

（コーディネーター役として総合的なまちづくりを担う市町村の役割が重要）

- ・ 大型店、商店街、地域住民などが（ゆるく）集まる枠組み
- ・ 商業、福祉、教育など複眼的な視点でのタウンマネジメント
- ・ 地域の課題やニーズは市町村でしか把握できない。市町村が地域と商店街、大型店をつなぐ役割を果たし、それぞれが Win-Win に。
- ・ キーパーソン、人材の確保・育成が重要
- ・ 名古屋市の条例を参考に、大型店の実効性ある地域貢献活動を促進するような条例を。

④商業者の本業とのつながりをしっかりとらえた上で持続可能な地域貢献活動を促進すること

- ・ 活動の継続性を高める。（日常の事業活動と関連性の高い地域貢献活動など）
- ・ 大型店が地域貢献活動に参加するインセンティブ